

## Y20b 宇宙基本法について III. 宇宙基本法制定を受けて

石附 澄夫 (国立天文台)

2008年6月20日、第169通常国会で「宇宙基本法」が可決成立した。

衆参両院でわずか4時間の審議であった。この法律によって、日本による宇宙の軍事利用の解禁が解禁された。

附則では、「政府は、この法律の施行後一年を目途として、本部に関する事務の処理を内閣府に行わせるために必要な法制の整備その他の措置を講ずるものとする」、付帯決議では、「本法の施行後二年以内を目途に、宇宙開発利用に関する条約等に従い、宇宙活動に係る規制などに関する法制を整備するよう努めること」とされており、「宇宙基本法」に基づいた数々の実施法の制定等、政策の実施のための決定が今後1-2年を目処に進むことになる。例えば、第4条でJAXAの業務を「平和の目的に限」った独立行政法人宇宙航空研究開発機構法（いわゆるJAXA法）は見直しを受けることになる。

ここで、宇宙基本法の成立の過程を振り返り、問題点を改めて指摘したい。

なお、宇宙基本法については下記のURLを参照いただきたい。[http://homepage2.nifty.com/space for peace/](http://homepage2.nifty.com/space%20for%20peace/)